



小坂中学校生徒4名 「一日人権擁護委員」で啓発活動

9月11日、小坂中学校の生徒が秋田地方法務局大館支局(小野雅之支局長)から「一日人権擁護委員」に委嘱され、定期市(市日)において啓発活動を行いました。

委嘱されたのは、生徒会の小笠原唯衣さん、兎澤大翔さん、佐々木玲維さんの3年生3名と、武石のあさんの2年生1名。買い物客らへ積極的に声をかけ、おしぼりやリーフレットなどを配布しながら、人権の大切さを広めていました。

生徒会長の小笠原さんは「人権は生きていく上で大事なこと。それぞれの人権を尊重していきたい」と充実した表情で話していました。



出身国オーストラリアを紹介 町国際交流員が鹿角市八幡平中を訪問

8月27日、国際交流員ブレット・ジョンソンさん(オーストラリア出身)が鹿角市の八幡平中学校を訪問し、1年生へ異文化について紹介しました。

はじめにブレットさんに対しての質問タイムが行われ、生徒が英語でオーストラリアの動物やお菓子で有名なものは何ですか?などと、たくさんの質問をしました。

この後、ブレットさんがオーストラリアの地理や地名、伝統的なブーメランを紹介し、ブーメランを見た生徒から「かっこいい」と歓声があがりました。生徒は充実したひとときを過ごしなが、異文化交流に理解を深めていました。



ごみの処分方法やリサイクルについて学びました 松戸市の親子が町を訪問

8月20日から21日まで1泊2日の日程で千葉県松戸市の小学4年生親子5組10人が環境学習の一環として小坂町に来訪しました。これは松戸市で排出される一般廃棄物の焼却灰が小坂町に搬入されていることから現地確認するとともに、ごみの減量化やリサイクルなど様々な環境課題に理解を深める機会として昨年に引き続き実施されたものです。

小坂町での滞在中には、DOWA関連施設やあきたエコタウンセンターを視察したり、町長への表敬訪問や小坂鉄道レールパーク、小坂鉱山事務所などの観光施設を見学したり、有意義な時間を過ごしました。



認知症講演会 認知症の人が安心して暮らすために

9月13日セパームを会場に講演会が開催され、昼と夜の部合わせて約120名の町民が認知症への理解を深めました。秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長の大田教授からは、認知症早期発見の目安や治療、対応のポイントが紹介されました。株式会社ビーベリーの児玉健康運動指導士からは、認知機能の維持向上を目指すプログラムとして数えながら歩き、特定の数字で手を叩いたりあげたりするラダーステップが紹介され、講師の「失敗しても笑ってごまかす」コツを実践して楽しみながら体験しました。